



2013 年度 美術科教育学会リサーチフォーラム

ヒトにとって〈美術-教育〉とは？

－ 根源的思索と実践的思索を架橋する －

■ 開催日 2014年3月2日（日） 午後1時～午後4時

■ 場 所 **CCAAアートプラザ** 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20
(丸の内線の四谷三丁目駅より徒歩約5分。元四谷第四小学校「四谷ひろば」内)

■ 参加費 無 料

■ 主題趣旨

美術科教育学会リサーチフォーラムは、美術教育のアクチュアルな問題、諸テーマを学術的・学際的視点から探求することを目的とし開催されます。現在、今日の教育が抱える問題を直視すると、美術教育における、より根源的な問題意識に基づく学術的探究が求められているように思います。そこで、本リサーチフォーラムでは、人間、社会、芸術をめぐる根源的思索と、子ども、教師、教育現場をめぐる実践的思索を架橋することによって、ヒトにとって〈美術-教育〉とは何かを検証し、時代の変換期においても尚、普遍的な美術教育とは何かを議論したいと思います。

1. 開会 [13:00-]

◇開会挨拶 : 永守 基樹（美術科教育学会代表理事、和歌山大学／美術教育学）

◇主題趣旨説明 : コーディネーター／奥村高明（聖徳大学）、谷口幹也（九州女子大学）

2. 発表・報告 [13:15-]

◇招待発表 岡本 哲雄（関西学院大学／教育哲学、教育人間学、人間形成論、臨床教育学）
有元 典文（横浜国立大学／教育心理学、文化心理学）
辻 政博（帝京大学／図画工作、造形・美術教育）

3. 招待発表者との討議 [15:15-]

◇司 会 : 山木 朝彦（鳴門教育大学／美術教育学）

■ 主 催 美術科教育学会

■ 招待発表者のご紹介

岡本 哲雄 （関西学院大学教育学部・教授／教育哲学、教育人間学、人間形成論、臨床教育学）

日常の教育の意味を“根っこ”から受け取り直すことが学問的使命である考え、「生の意味」の臨床哲学、子どもの人間学、「語り」の解釈学、他者性と超越の思想などを手掛かりにし、研究活動を行っている。

【主要業績】

〈共著〉『「人間と教育」を語り直す―教育研究へのいざない―』皇紀夫編著、ミネルヴァ書房、2012年

第1章「教育の思想と意味」、第7章「ニヒリズムと教育の相入反転―意味の声は聞こえるか―」

〈共著〉『ランゲフェルト教育学との対話―＜子どもの人間学＞への応答』和田修二、皇紀夫、矢野智司編、玉川大学出版、2011年

第2部「大人であること」の意味、「子どもと共に存在すること」の“誰”を問う―今、「教育の倫理」を語りなおす

〈翻訳〉『人間とは何か―実存的精神療法―』（V.E.フランクフル著）監訳者：山田邦男、訳者：岡本哲雄、雨宮徹、今井伸和

〈論文〉「「生の意味」への問いと教育者に成ること―「大学における養成」再考のための一試論―」

『教育哲学研究』第100号 [特集 教員養成と教育哲学]、2009年

有元 典文 （横浜国立大学教育人間科学部・教授／教育心理学・文化心理学）

音楽実践の学習環境デザイン、音楽教育、教育実習生の学習過程フィールドワーク、学習環境のデザイン、身近な実践の学習過程フィールドワーク等、幅広い知的探求心のもと研究活動を行っている。

【主要業績】

〈共著〉『デザインドリアリティー 集合的達成の心理学 増補版』北樹出版、2013年

〈編著〉『状況と活動の心理学』新曜社、2012年

〈共著〉『社会と文化の心理学 ヴィゴツキーに学ぶ』2章 茂呂雄二他編、世界思想社、2011年

〈編著〉『状況論的アプローチ 2 認知的道具のデザイン』金子書房、2008年

辻 政博 （帝京大学教育学部・専任講師／図画工作、造形・美術教育）

東京都小学校教諭（図画工作専科）として勤務（1981年4月～2011年3月）した後、2011年より著述業、画家、NPO法人市民の芸術活動推進委員会等で活動、2013年4月より現職。

【主要業績】

〈単著〉『図工のきほん大図鑑 材料・道具から表現方法まで』PHP研究所、2013年

〈共著〉『子ども主義宣言―子どもたちのリアルと図工の時間―』東京都図画工作研究会著、三晃書房、2007年

〈共著〉『月に吠える―子ども・アート・学校―』鈴石弘之、辻政博共著、文化書房博文社、2007年

〈共著〉『子どもの詩の絵本 谷川俊太郎と子どもたち～きみはなまいきなみさまだ～』谷川俊太郎、東京都図画工作研究会共著、三晃書房、2009年

〈監修〉『図工室にこう2～アートが生み出す子どもの未来～』監修：辻政博、編集：美術手帖編集部、協力：東京都図画工作研究会、美術出版社、2012年

■ 会場・交通案内



CCAAアートプラザ

元四谷第四小学校の跡地利用で出来た「四谷ひろば」内にあります。教室を利用した貸しギャラリー「ランプ坂ギャラリー」が3部屋・常設展示の手で見るギャラリー「ギャラリーフレンド」・各種の講座が開かれている「図工室」・美術教育関係の資料を集めた「アーカイブセンター」（現在資料整理中）となっていて、これら全体をCCAAアートプラザといいます。運営はNPO法人市民の芸術活動推進委員（CCAA）。

アクセス

東京メトロ丸の内線 四谷三丁目下車 徒歩5分
都営地下鉄新宿線 曙橋駅下車 徒歩7分

■ コーディネーター：奥村高明（聖徳大学）、谷口幹也（九州女子大学）

■ 企画運営：美術科教育学会事業部

■ お問い合わせ先：谷口幹也 tmikiya@kwuc.ac.jp